



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 コード番号 3315 URL <https://www.n-coke.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿毛 和哉

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 山下 伸一

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	84,504	33.7	10,386	202.2	9,866	235.4	6,604	283.2
2021年3月期第3四半期	63,194	23.2	3,437	256.0	2,941	490.5	1,723	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,610百万円 (242.9%) 2021年3月期第3四半期 1,927百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	22.70	
2021年3月期第3四半期	5.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	124,377	56,553	45.5
2021年3月期	102,151	51,106	50.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 56,553百万円 2021年3月期 51,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		4.00	4.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2022年2月4日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	43.4	11,800	68.6	11,000	70.5	6,800	71.4	23.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年2月4日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	302,349,449 株	2021年3月期	302,349,449 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	11,321,482 株	2021年3月期	11,320,765 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	291,028,363 株	2021年3月期3Q	291,029,410 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況におかれています。また、ワクチン接種の促進や海外経済の改善により、持ち直しの動きもみられていますが、オミクロン株の出現による感染の急拡大もあり、感染症の動向による内外経済への影響には十分に注意する必要があります。

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症による影響は現段階では限定的であるものの、今後の国内外の感染症の動向は不透明であり、先行きが見通せない状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べ原料炭市況およびコークス製品市況の上昇などがあり、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比213億1千万円増加の845億4百万円となりました。利益面では、前述の市況上昇の影響などがあり、連結営業利益は、前年同期比69億4千9百万円増加の103億8千6百万円、連結経常利益は、前年同期比69億2千5百万円増加の98億6千6百万円となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前述の理由などにより、前年同期比48億8千1百万円増加の66億4百万円となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比154億3千7百万円増加の560億3百万円、営業利益は、前年同期比66億7千5百万円増加の89億6千3百万円となりました。

また、2021年12月27日に公表いたしましたコークス出荷設備損壊事故については、当期において、出荷費用の増加などにより、8億6千9百万円が発生しております。

燃料・資源リサイクル事業につきましては、売上高は、前年同期比68億3千6百万円増加の208億5千8百万円、営業利益は、前年同期比7億8千5百万円増加の17億9千3百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比5億6千7百万円減少の49億4千2百万円、営業利益は、前年同期比3億4千3百万円減少の5億7千7百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比3億9千6百万円減少の27億円、営業利益は、前年同期比2千8百万円減少の2億8千2百万円となりました。

なお、当社グループは、燃料の販売から石炭灰等のリサイクル処理までを一貫して扱う当社ビジネスの特色を活かすため、会社組織の変更を実施しており、これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち「燃料販売事業」と、「総合エンジニアリング事業」に含まれていた「資源リサイクル事業」を統合し、「燃料・資源リサイクル事業」としております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,243億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ222億2千6百万円増加となりました。増減の主なものは、原材料及び貯蔵品の増加131億4千7百万円、商品及び製品の増加65億3千3百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加30億5千万円、機械装置及び運搬具の減少18億7千1百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、678億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ167億7千9百万円増加となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加193億6千万円、流動負債「その他」の増加8億5千3百万円、長期借入金の減少35億8百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ、54億4千6百万円増加の565億5千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想の修正については、本日(2022年2月4日)公表いたしました、「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、2021年12月27日公表の「コークス出荷設備損壊について」におきまして、2021年度営業損失見込額を約14億円としておりましたが、現時点におきまして、約24億円を見込んでおり、本日公表の業績予想に織り込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,713	6,130
受取手形及び売掛金	9,599	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	12,649
商品及び製品	7,340	13,874
仕掛品	1,066	1,656
原材料及び貯蔵品	7,808	20,956
その他	606	1,467
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	32,102	56,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,316	23,405
減価償却累計額	△15,352	△15,737
建物及び構築物 (純額)	7,963	7,668
機械装置及び運搬具	94,097	95,509
減価償却累計額	△72,496	△75,779
機械装置及び運搬具 (純額)	21,600	19,729
土地	34,377	34,335
建設仮勘定	329	193
その他	1,901	1,969
減価償却累計額	△1,261	△1,334
その他 (純額)	640	635
有形固定資産合計	64,911	62,562
無形固定資産		
その他	380	425
無形固定資産合計	380	425
投資その他の資産		
投資有価証券	863	846
繰延税金資産	2,747	2,734
その他	1,155	1,115
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,756	4,687
固定資産合計	70,048	67,675
資産合計	102,151	124,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,901	30,261
短期借入金	7,029	7,002
未払法人税等	1,556	2,294
賞与引当金	820	422
関係会社整理損失引当金	342	347
受注損失引当金	7	115
その他	6,736	7,589
流動負債合計	27,393	48,034
固定負債		
長期借入金	16,059	12,551
退職給付に係る負債	3,092	3,064
役員退職慰労引当金	59	49
環境対策引当金	3,341	3,341
関係会社整理損失引当金	53	37
その他	1,045	746
固定負債合計	23,651	19,790
負債合計	51,045	67,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	43,549	48,990
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	51,090	56,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183	171
退職給付に係る調整累計額	△167	△149
その他の包括利益累計額合計	15	21
純資産合計	51,106	56,553
負債純資産合計	102,151	124,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	63,194	84,504
売上原価	55,533	69,009
売上総利益	7,661	15,494
販売費及び一般管理費	4,223	5,107
営業利益	3,437	10,386
営業外収益		
保険差益	0	68
その他	76	77
営業外収益合計	76	146
営業外費用		
為替差損	32	186
環境対策引当金繰入額	154	163
支払利息	217	163
その他	168	153
営業外費用合計	572	666
経常利益	2,941	9,866
特別利益		
固定資産売却益	33	66
その他	8	—
特別利益合計	42	66
特別損失		
固定資産除却損	503	467
その他	147	13
特別損失合計	651	480
税金等調整前四半期純利益	2,332	9,453
法人税、住民税及び事業税	215	2,838
法人税等調整額	393	10
法人税等合計	609	2,848
四半期純利益	1,723	6,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,723	6,604

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,723	6,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	185	△11
退職給付に係る調整額	18	17
その他の包括利益合計	204	5
四半期包括利益	1,927	6,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,927	6,610
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による、各報告セグメントにおける主な状況につきましては、以下の通りです。

(1) コークス事業

コークス製品の納入時点等で履行義務が充足されたと判断し、その時点において収益を認識しております。

(2) 燃料・資源リサイクル事業

石炭製品の納入時点等で履行義務が充足されたと判断し、その時点において収益を認識しております。

石炭灰等の処理に関する仲介取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、当連結会計年度より、収益認識基準における「代理人取引」に該当するものとして、売上と売上原価および販売直接費を相殺して表示することとしております。

(3) 総合エンジニアリング事業

従来、工事契約に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用していましたが、当連結会計年度より、少額且つごく短期的な工事については、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識し、その他の工事については、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識しております。

(4) その他

運輸荷役事業における代理人取引による収益について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、当連結会計年度より、収益認識基準における「代理人取引」に該当するものとして、売上と売上原価を相殺して表示することとしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16億1千2百万円減少し、売上原価は14億6百万円減少し、販売直接費は2億5百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替は行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定めた新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	40,565	14,021	5,509	60,097	3,096	63,194	—	63,194
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	5	887	893	182	1,076	△1,076	—
計	40,565	14,027	6,397	60,990	3,279	64,270	△1,076	63,194
セグメント利益	2,287	1,008	921	4,216	310	4,527	△1,090	3,437

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,090百万円は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,097百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

(1)報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	56,003	20,858	4,942	81,803	2,700	84,504	—	84,504
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	10	1,117	1,127	269	1,397	△1,397	—
計	56,003	20,868	6,059	82,931	2,969	85,901	△1,397	84,504
セグメント利益	8,963	1,793	577	11,334	282	11,616	△1,229	10,386

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,229百万円は、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,245百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

1. 報告セグメントの変更

当社グループは、燃料の販売から石炭灰等のリサイクル処理までを一貫して扱う当社ビジネスの特色を活かすため、会社組織の変更を実施しており、これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち「燃料販売事業」と、「総合エンジニアリング事業」に含まれていた「資源リサイクル事業」を統合し、「燃料・資源リサイクル事業」としております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものであります。

2. 収益認識に関する会計基準等の適用

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益または損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「燃料・資源リサイクル事業」の売上高が1,120百万円減少し、「その他」の売上高が492百万円減少しております。